

記者ゼミIT講座【補講】

サイトの新着情報をメールで自動通知する

2019/09/14 朝日新聞・西尾

(1) はじめに

ニュースの端緒になるネタがよく載るサイトとか、ブログを定期的にウォッチするのは、結構大変。新着情報があるときだけ、知らせてくれる仕組みがあるとよいのだけれど……というお悩み相談を、勝手に想定してみました。**時間のない方は、Googleアカウントでログインした状態で、(5)のスプレッドシートのコピーだけ、この場で済ませて下さい。**残りは会社や自宅でもできます。

メジャーどころのブログは、「RSSフィード」という仕組みで対応できることがほとんどです。新着情報などのサイトの要約を、運営者が知らせる機能です。参考になるのは、こちら。

「お気に入りサイトの更新通知を受け取る」

<https://pc-pier.com/blog/2017/03/31/rss-feed/>

「主要4ブログのRSSフィードのURLをまとめました」

<https://viral-community.com/blog/rss-check-615/>

でも、そうでないサイトもたくさんあります。きょうは、注目の人との会見がいきなり飛び込んでくることが多い（だから目が離せない）、日本記者クラブでの記者会見を例に、やってみましょう。

(2) 準備

Googleのアカウントでログインし、お手元のパソコンでGmailが読める状態にしておく。複数のアカウントを持っている場合は、**アカウント1つだけ**でログインして、残りはログアウトする。この、ログインしているアドレスに通知メールが届くようにする。

※ログインしていないと、(5)のシートのコピーができない。複数アカウントで同時にログインしていると、コピーはできるが、その後、スクリプトを触る箇所で、うまくいかない。

(3) やりたいこと

大きなネタにつながるものがちよくちよくあるサイトだけれど、ほかの取材をしている最中に頻繁にチェックするのは無理。新着情報があるときだけ、自分にメールが届くようにしたい。トップページはこちら (<https://www.jnpc.or.jp>) だが、新着情報を自動処理するには、どのページに着目するのがよいだろうか？

(4) 使うツール

Googleスプレッドシートを使う。定期巡回する先は、ちょっと見つけにくいかもしれない、会見予定のページ (<https://www.jnpc.or.jp/coming/conference/schedule>) にした。この中身を、スプレッドシートのセルに貼り付けて保存する。その次にチェックしに行ったときに、前回と差分があったら、自分あてにメールで知らせる。

なお、スプレッドシートは新旧比較のためのデータの保存場所にすぎない。新着かどうかの判断やメール送信は、裏で動く「プログラム」(Google Apps Script) に担当させる。この方法が使える上に、自動化も楽なのが、Googleスプレッドシートを使った理由。一度設定してしまえば、パソコンの電源が入ってなくてもOK。出張中だろうと休暇中だろうと動く。

(5) Googleスプレッドシートをコピーする

ブラウザで

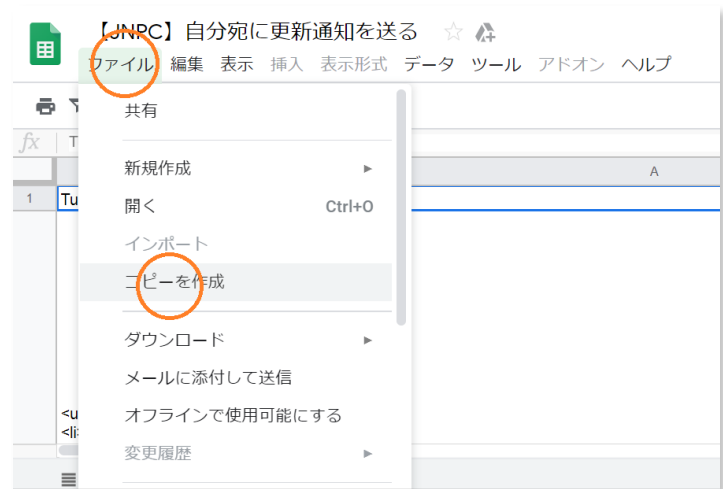
bit.ly/JNPC190914

にアクセスする。「【JNPC】自分宛に更新通知を送る」というスプレッドシートが見える。

「ファイル」→「コピーを作成」

と進んで、自分専用に保存する。「××のコピー」というファイル名になってしまうので、適宜付け替える。元のファイルがまだ開いていたら、閉じておく。

※コピー元のシートのURLは、講義終了まで有効にしておきます。



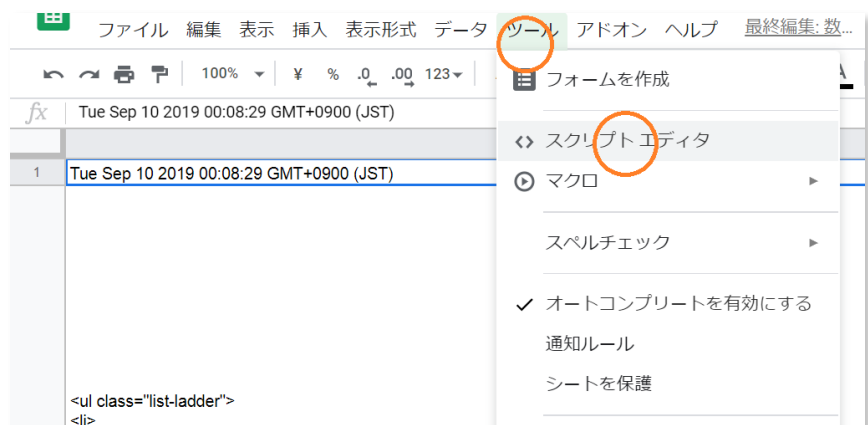
(6) スクリプトを動かす

指定のページを定期的に見に行き、会見予定が追加されたり、時間が変更になっていたら、通知するメールを自分あてに送る、というスクリプトが仕込んであるので、これをスタートさせるための手順は以下の通り。

いまサインインしている Google アカウントのメールアドレスが発信元&受信先になる。to や cc、bcc の受信先を増やすこともできる。URLを変えて、日本記者クラブ以外のサイトをウォッチする場合の下敷きにも使える。ただし、その場合は多かれ少なかれ、プログラムの手直しが必要になる。プログラム中の★をつけておいた部分。

①「ツール」→「スクリプトエディタ」を選んで、コードを開く

コード.gsという名前のプログラムの画面になる。中は、いくつかの「ファンクション」に分かれている。使うときには親玉の「autoMail」を起動すること。ほかは、このメインプログラムの言いつけを実行する手下たち。

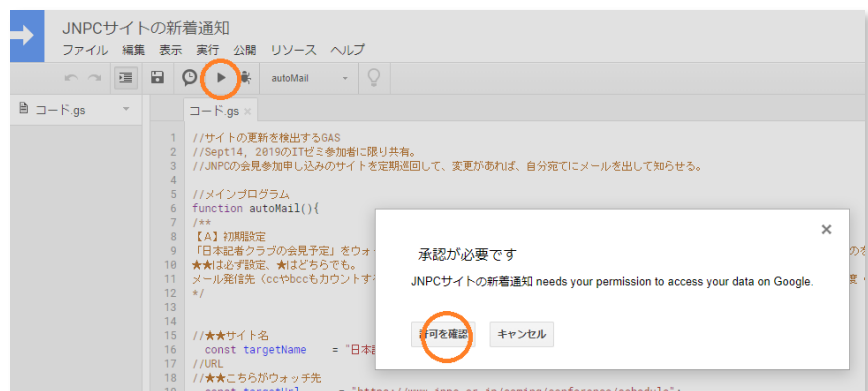


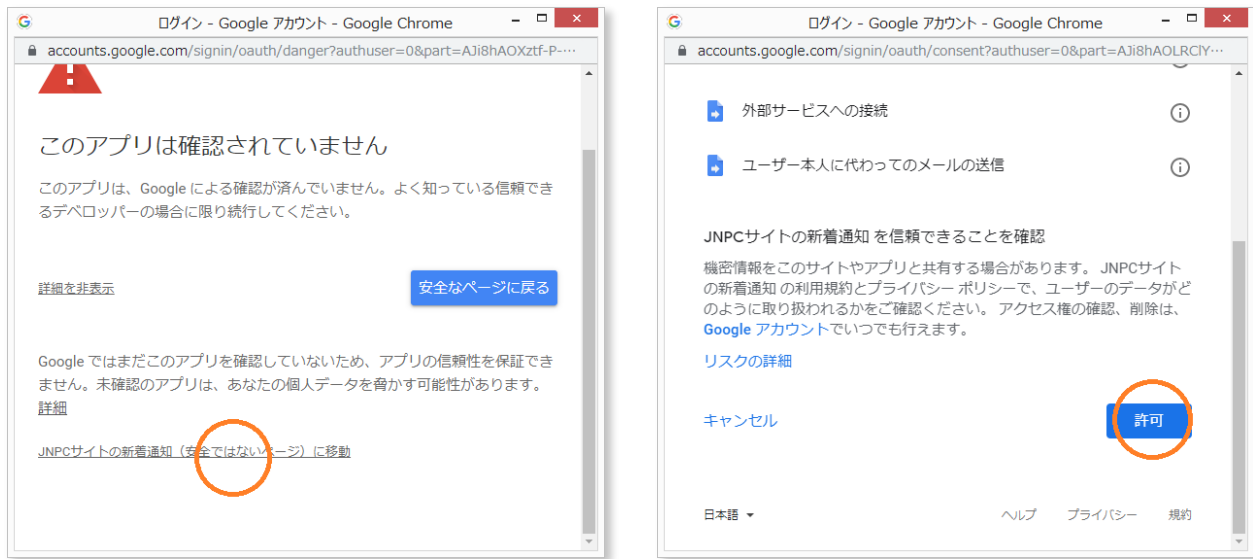
②左上からやや真ん中に寄ったところにある「関数を選択」で「autoMail」を選ぶ



③少し左にある「再生ボタン (▶)」みたいな右向き三角マークを押す

承認手続きがポップアップする。ここでやっておかないで後回しにすると、ブラウザのブロッカーが悪さをして、トリガー設定時にエラーすることが多い。なので、「許可を確認」を選ぶ。



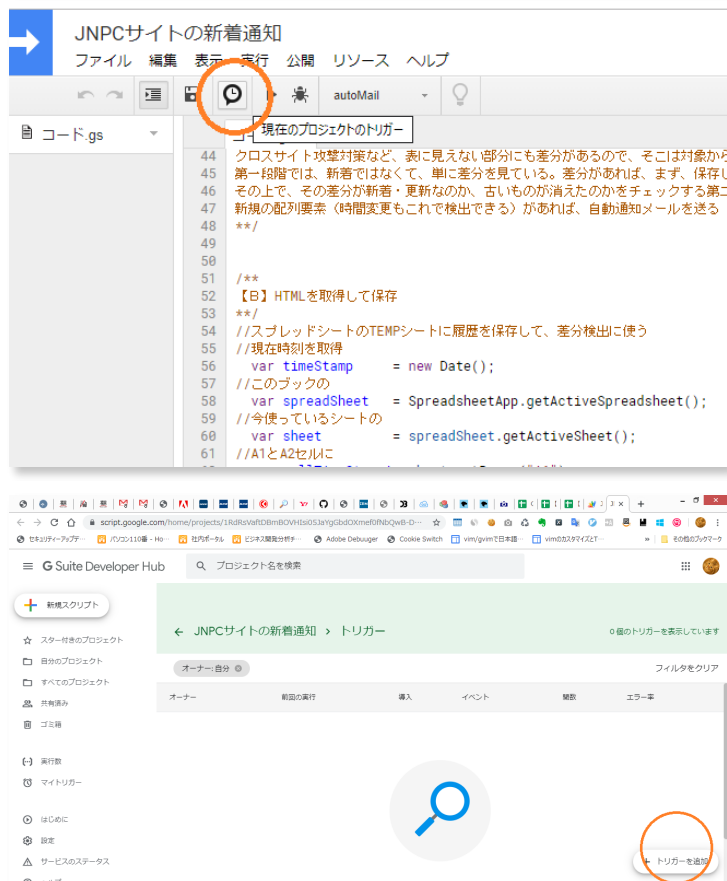


④警告が出たら

「承認が必要です」とか「このアプリは確認が済んでいません」と出たら、「許可の確認」や「××××のプロジェクト（安全ではないページ）に移動」を押す。「安全なページに戻る」のボタンしかない場合は、「詳細」を押す。「次へ」で進み、説明に納得の上で許可を出せば、自分で自分にメールを送る、という仕組みが動かせるようになる。

⑤先ほどの「再生ボタン（▶）」の左にある「時計」マークを押す
これでトリガーの設定に進む。

⑥右下の「トリガーの追加」を押す
少し分かりにくいかも。右下の隅にボタンがある。



⑦開いた窓の3番目、「イベントのソースを選択」を「時間主導型」に変更

⑧巡回の間隔を指定する

デフォルトでは1時間に1回、巡回する。そのままでOKだが、頻繁にチェックさせたいければ、「時間ベースのタイマー」の部分を「分ベース」で「10分」などに適宜変える。

逆に、そこまで頻繁でなくてよければ、間隔を開けたり、毎月決まったに日だけ稼働するように指定することも可能。

なお、無料版の場合、メールは1日に計100の宛先にしか送れない、という制限があるので、よく考えて。まとまった人数の取材チームに同送したいときは、まず自分に送り、そこから転送をかける方がよい。

※うまくいかない場合

Google アカウントを複数持っていて、両方でログインしているような場合（Gmailのアドレス2つ以上を使い分けて、タブを同時に複数開いてメールを読んでいる、とか）、スクリプトエディターが開かなかったり、トリガーの設定ができなかったりして、うまく行かないことがある。その場合は、いったんログアウトしてから、スプレッドシートの「オーナー」（編集可能な持ち主）になっているアカウントでログインし直すとよい。

(6) やっていること

プログラムがやっていることは、//や/*以下のコメント（コンピューターは実行しない部分。忘れっぽい人間のためのメモ書き）に入れているので、興味のある人は眺めてみて。ざっと、

④巡回先のURLや、メール送信先、文面などの初期設定をする

⑤指定したページのHTMLを取得して保存する

⑥前回取得したときのデータと違いがあるか比較する

⑦違いがあれば、次回との比較に備えて、データをシートに保存する。

→違いがなければ、何もしない

⑧さらに、HTMLコードの差分が、本当に会見の新着なのか、そうではないのかを調べる。

→新着でなければ、これ以上は何もしない

⑨会見の新着を知らせるメールを送る

という流れになっている。

日本記者クラブの会見予定の場合は必須だが、サイトによっては⑧の手順は不要な場合もある。

(7) お疲れさまでした！

さあ、これで会見予定に新着があれば、メールが届くはず。

お問い合わせ、後日のフォローなどは、ご遠慮なく

yoshito.nishio+JNPC@gmail.com

までお願いします。